

写

青 第 1 9 4 号

令和6年9月11日

埼玉県青少年健全育成審議会  
会 長 堀 田 香 織 様

埼玉県知事 大 野 元 裕 (公印省略)

青少年に優良な図書の推奨について (諮問)

埼玉県青少年健全育成条例第10条の規定により、青少年に優良な図書として別記の図書を推奨したいので、同条例第25条第1項第1号の規定により、貴審議会の意見を求めます。

令和6年度 埼玉県推奨図書一覧

諮問番号	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(税込)	出版年月	ISBNコード
1720	乳幼児	ゆきって なあに？	ユーヴァル・ゾマー/作 木坂涼/訳	国土社	¥1,980	R5.10	978-4-337-06252-8
1721	乳幼児	あめがふってきたよ	メアリー・サーフォゾ/文 ケイコ・ナラハシ/絵 木坂涼/訳	徳間書店	¥1,870	R5.5	978-4-19-865313-2
1722	乳幼児	ぎゅっ だーいすき！	新井洋行/作	童心社	¥990	R5.8	978-4-494-01591-7
1723	乳幼児	うかぶかな？ しずむかな？	川村康文/文 遠藤宏/写真	岩崎書店	¥1,540	R5.8	978-4-265-83152-4
1724	乳幼児	ぼくらのほたけ	マーガレット・ワイズ・ブラウン/作 イーディス・サッチャー・ハード/作 ガートルード・エリオット/絵 木坂涼/訳	好学社	¥1,650	R5.8	978-4-7690-2280-0
1725	小学校低学年	おかしなまちのおかしなはなし	いわさきさとこ/作・絵	フレーベル館	¥1,496	R5.1	978-4-577-05085-9
1726	小学校低学年	ちやうちやうちやうねん	もりなつこ/作 はしもとえつよ/絵	文研出版	¥1,650	R5.10	978-4-580-82606-9
1727	小学校低学年	ほくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか	しゅん/作 えがしらみちこ/絵	KADOKAWA	¥1,430	R5.7	978-4-04-113555-6
1728	小学校低学年	やさいのはな なんのはな？	宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真	岩崎書店	¥1,540	R5.5	978-4-265-83151-7
1729	小学校低学年	リジーと雲	テリー・ファン/作 エリック・ファン/作 増子久美/訳	化学同人	¥2,200	R5.2	978-4-7598-2298-4
1730	小学校中学年	猫丸神社のひみつ	西村友里/作 ゆーちみえこ/絵	国土社	¥1,540	R5.7	978-4-337-33662-9
1731	小学校中学年	どんなイチゴも、みんなかわいい	葦原かも/作 中田いくみ/絵	童心社	¥1,320	R5.6	978-4-494-02080-5
1732	小学校中学年	はねをならべて 2わの コウノトリの きずなの はなし	キャレン・レヴィス/作 チャールズ・サントソ/絵 いわじょうよしひと/訳	BL出版	¥1,980	R5.4	978-4-7764-1091-1
1733	小学校中学年	あこがれのユーチューバー	牧野節子/作 はせがわはっち/絵	国土社	¥1,540	R5.4	978-4-337-33659-9
1734	小学校中学年	海にしずんだクジラ	メリッサ・スチュワート/文 ロブ・ダンラヴィ/絵 千葉茂樹/訳	BL出版	¥1,980	R5.8	978-4-7764-1103-1
1735	小学校高学年	ひと箱本屋とひみつの友だち	赤羽じゅんこ/作 はらぐちあつこ/絵	さ・え・ら書房	¥1,650	R5.6	978-4-378-01562-0
1736	小学校高学年	今日もピアノ・ピアノ	有本綾/作 今日マチ子/絵	Gakken	¥1,650	R5.11	978-4-05-205778-6
1737	小学校高学年	すき、好き、スキ。	イノウエミホコ/作 ふうき/絵	文研出版	¥1,650	R5.3	978-4-580-82570-3
1738	小学校高学年	ホワイトバード	R・J・パラシオ/原作 エリカ・S・パール/ノベライズ 中井はるの/訳	ほるぶ出版	1,760円	R5.11	978-4-593-10393-5
1739	小学校高学年	ケモノたちがはしる道	黒川裕子/作	静山社	1430円	R5.11	978-4-86389-762-5
1740	中学校	ハーベスト	花里真希/著	講談社	¥1,650	R5.4	978-4-06-530580-5
1741	中学校	アンナの戦争 キンダートランスポートの少女の物語	ヘレン・ピーターズ/作 尾崎愛子/訳	偕成社	¥1,870	R5.8	978-4-03-726800-8
1742	中学校	さみしい夜にはベンを持って	古賀史健/著 ならの/絵	ポプラ社	¥1,650	R5.7	978-4-591-17854-6
1743	中学校	きみの話を聞かせてくれよ	村上雅郁/作 カシワイ/絵	フレーベル館	¥1,694	R5.4	978-4-577-05186-3
1744	中学校	アップサイクル！ ぼくらの明日のために	佐藤まどか/作 木内達朗/装画・挿絵	ポプラ社	¥1,760	R5.10	978-4-591-17926-0
1745	高校・青年	友だちがしんどいなくなる本	石田光規/著	講談社	¥1,540	R6.2	978-4-06-534018-9
1746	高校・青年	八秒で跳べ	坪田侑也/著	文藝春秋	¥1,870	R6.2	978-4-16-391801-3
1747	高校・青年	弟は僕のヒーロー	ジャコモ・マツツアリオール/著 関口英子/訳	小学館	¥1,100	R5.12	978-4-09-407285-3
1748	高校・青年	続 窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子/著	講談社	¥1,650	R5.10	978-4-06-529671-4
1749	高校・青年	私たちの世代は	瀬尾まいこ/著	文藝春秋	¥1,870	R5.7	978-4-16-391727-6

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1720	ゆきって なあに？  国土社  ユーヴァル・ゾマー/ 作 木坂涼/訳	【内容】 春に生まれたウサギとキツネは、まだ雪を見たことがない。森のなかまたちに「ゆき」について聞いて歩き、ヒントを覚えてもらう。歩き疲れて寝てしまうが、朝になると雪が積もっており「これがゆきだね」と喜ぶ。「はじめて」のわくわくを描いた絵本である。  【選定理由】 森のなかまたちから教わる「ゆき」の特徴についての言葉、表現が楽しい。一つ一つの特徴が合わさって、最後に雪を体験する過程により、想像力が育まれ、雪に対する興味を高める。ウサギとキツネが森のなかまたちに見守られている安心感がある。	(1)エ (2)ア (3)ア
1721	あめがふってきたよ  徳間書店  メアリー・サーフオゾ/ 文 ケイコ・ナラハシ/ 絵 木坂涼/訳	【内容】 夏のある日に降ってきた雨の様子を、様々なオノマトペで表現している。女の子が全身で雨を楽しんだ後、暖かい家で、翌朝の虹を楽しみに眠る。雨や水にまつわる様々な音と鮮やかな絵が、夏の雨の一日を印象的に描いている。  【選定理由】 女の子が自然と触れあうよろこびと、そのあとに家に帰り家族に迎えらるる安心感が伝わる。読んだ子供たちが追体験できるよさがある。にじみを使った絵がしっとりとした雨の日の雰囲気をよく伝えている。また雨や水にまつわる様々な音をオノマトペで表現しているのがよい。	(1)エ (3)ア
1722	ぎゅっ だーいすき！  童心社  新井洋行/作	【内容】 ぎゅっしてするのが大好きなコアラくん。うさぎちゃんやクッション、ぞうさんの鼻やお母さんの背中に、ぎゅっ！ スキンシップしながら読むとより楽しめるあかちゃん絵本である。  【選定理由】 仲良しの友達や、親子でのスキンシップがリズムカルに描かれており、ふれあいを楽しむことができる絵本。最後にはみんなで仲良くぎゅっして眠る、健やかな生活が描かれている。	(1)エ (3)オ
1723	うかぶかな？ しずむかな？  岩崎書店  川村康文/文 遠藤宏/写真	【内容】 目に見えない浮力を写真でわかりやすく説明している。子供たちにも身近なもので実験したり、どうなるか考えるページを設けてから結果をだして、子供たちが興味を持ちやすいように工夫されている。詳しい解説を見なくても楽しめる科学絵本となっており、思考力や科学への興味関心を高めることができる本である。  【選定理由】 浮力という現象が写真でわかりやすく可視化されており、文章も短くまとめられているため幼い子でも楽しみながら科学への理解を深められる。また、子どもが興味を持ちやすい身近な道具を使う、結果を見せる前に考えさせるページを設けている等、思考力や想像力を育む工夫がなされている。	(1)エ (2)ア (3)ア
1724	ぼくらののはたけ  好学社  マーガレット・ワイズ・ブラウン/作 イーディス・サッチャー・ハード/作 ガートルード・エリオット/絵 木坂涼/訳	【内容】 男の子と女の子が畑で過ごす一年間を描く。農作業の楽しさと収穫の喜びにあふれた絵本。デフォルメされた絵ながら、植物や動物はしっかり特徴を捉えて描かれている。収穫した作物で料理や保存食を作り、おしまいに暖炉でくつろぐ様子は読み手も満ち足りた気分になる。農業が多様な動植物との関わり合いから成り立っていることも描かれているのでSDGsの視点もあり。文章は詩的で読み聞かせにも適している。  【選定理由】 農業を描く物語は、過去に出版された名作のなかでもとりわけ子供に喜ばれており、読み手の満足度も高い。農業が多様な動植物との関わり合いから成り立っていることも描かれているのでSDGsの視点も感じられる。文章は詩的で読み聞かせにも適している。	(1)イ (3)ア (3)エ

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1725	おかしのまちのおかしなはなし フレーベル館 いわさきさとこ/作・絵	【内容】 絵の完成度が非常に高い。細部までも丁寧描かれていて、全体的に明るい色調である。ストーリーは素直な作りになっているので、小学校低学年の子供でも読みやすい。それぞれ個性の違うものどうしが仲良くしていくにはどのように工夫したらよいか、子供にヒントを与える本である。  【選定理由】 仲が悪かった和菓子たちと洋菓子たちが、互いの違いを認め合って、仲良くしていくことの大切さを教えてくれる。そのきっかけを作ったのは、どちらのお菓子にも使われている「たまご」。お互いの良さを認め合ったり、良いところを取り入れたりすることで、多様性を受け入れたり尊重したりする大切さを、低学年に分かるように伝えている一冊である。	(1)ア (2)ア (3)エ
1726	ちやうちやうちやうねん 文研出版 もりなつこ/作 はしもとえつよ/絵	【内容】 誰かのことを「すき」という気持ちはどこからくるのか、一緒に考えたい本である。答えが出てこないの、大人と一緒に読んで、一緒に考えてみるのもよい。イラストも子供の表情が豊かでよい。関西弁で書かれていて、軽妙なタッチで読みやすく、それがこの本の良さでもある。  【選定理由】 相手のことを「好き」と感じる感情を、低学年の子供の日常生活から分かりやすく伝えている。登場人物の表情も豊か。登場人物のやりとりもおもしろく、気持ちがあたたかくなる一冊。「すきかも」「すき」という気持ちを大切にできるきっかけになる一冊である。	(2)イ (3)オ
1727	ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか KADOKAWA しゅん/作 えがしらみちこ/絵	【内容】 小学校2年生の男の子が書いた自由研究を基にして書かれているので、子供にとっても読みやすい。生まれた時からずっと一緒にいた犬に対しての深い愛情がよく伝わってくる作品である。  【選定理由】 題名を読んで、動物好きな人たちは惹かれてしまう一冊。小学校2年生の男の子が行った自由研究を基にして描かれているので、子供の視点からの素直な愛情表現が溢れている。ただ可愛がるだけではなく、「なんで?」「どうして?」という視点で愛犬を見つめるきっかけになり、動物に対してより深い理解や愛情をもつことができる。	(1)ア (1)イ
1728	やさいのはな なんのはな? 岩崎書店 宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真	【内容】 野菜の花の写真から何の野菜かを想像させる本である。途中途中で、働いている人々の写真や花が拡大されている写真等、一つ一つの写真の撮り方が工夫されていておもしろい。小学校低学年の「生活科」の導入として理科学的な事柄に興味をもってもらうには丁度よい作品である。  【選定理由】 写真の撮り方が工夫されていておもしろい。普段食べているのは、どの部分なのかまで説明があり、細かいところまで配慮がゆき届いている。大きく写された花から何の野菜かクイズを解きながら、身近な野菜に興味を持つ一冊である。	(2)ア (3)ア
1729	リジ—と雲 化学同人 テリー・ファン/作 エリック・ファン/作 増子久美/訳	【内容】 公園で「雲うり」から小さな雲を買った少女が、雲が部屋に入りきらないほど大きくなるまで大切に育て、最後に雲を大空に放つことを決心するまでの様子が、短い文章と繊細な色彩でやさしいタッチの絵で描かれている。  【選定理由】 1ページに対する文章の量が、低学年の子供が読むには適当である。絵のタッチが優しく、丁寧に描かれていて、色彩も繊細である。「大切に育てたものがいつかは成長して離れていく」という切なく、普遍的なテーマが描かれているが、対象を「雲」にしたことで「メルヘン」として読むことができるため、深刻にならない。大人が読んでも十分感動することのできる内容である。親子で一緒に味わってほしい。	(1)ア (2)イ

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1730	猫丸神社のひみつ  国土社  西村友里/作 ゆーちみえこ/絵	【内容】 幹人の家である猫丸神社は街のはしにある小さな神社。ある日、総合の授業で猫丸神社について調べることになった幹人、結衣、想太だったが、神主のじいちゃんに聞いても図書館で調べても不思議と猫丸神社の歴史にたどり着くことはできない。猫丸神社の謎が解き明かされていく過程はもちろん、成り行きでグループを組んだ3人の距離が深まっていくところにも引き込まれる物語。最後まで安心して楽しむことができる。  【選定理由】 自分の家である猫丸神社や結衣と想太について、何も知らないまま少し距離を置いていた幹人が、それぞれを知ることによって歩み寄り、大切に思う気持ちが芽生え、成長していく姿が描かれている。関わり方の少なかった友達と謎を解明する過程で仲を深めていく王道ともとれる構成だが、3人の性格や背景は子どもたちが共感できる部分が多く、謎を解き明かしていくワクワク感とともに物語の中に入り込んで最後まで楽しむことができる物語である。	(1)ア (2)ア
1731	どんなイチゴも、みんなかわいい  童心社  葦原かも/作 中田いくみ/絵	【内容】 小さい頃からフクロウやミズクが好きなアヤは、発表会で、クラスでやる劇のミズク役をやりたいが、立候補する勇気が出ず悩む。しかし、ちょっとしたきっかけから、主人公が徐々に自分の個性を出せるようになり、周りの友達と親交を深め合う話。1話ずつが短く読みやすい。話を追うごとに主人公の内的成長が見られる。自分を認める勇気の出る、引っ込み思案な子の後押しをしてくれるような心温まる作品である。  【選定理由】 地味でいる方が楽、と思っていたアヤが、ふとしたきっかけから、殻を破り、自分らしさを出していく。アヤが「いつもとちがうわたし」と勇気を出す姿や、それを好意的に受け止めてくれる優しいクラスメイト達との交流を丁寧に描いている。題名にあるように、みんなそれぞれ違っていい、と個性を認め合うよさに気づきながら、将来の夢を思い描くようにまで成長するアヤに好感がもて、読者の背中を後押ししてくれる。	(1)ア (2)イ
1732	はねをならべて 2羽の コウノトリのきずなのはなし  BL出版  キャレン・レヴィス/作 チャールズ・サントソ/絵 いわじょうよしひと/訳	【内容】 コウノトリのクレペタンとマレナは1年中どんなときもいっしょだった。「どんなときも—はねをならべていよう。」とある日、マレナは大けがをして飛べなくなり、渡りに加われず人間に保護されることになる。実話をもとにした、2羽のコウノトリの絆の物語。性格の異なる2羽のコウノトリが互いを思い合う描写が絵と共に繊細に描かれている。特に、クレペタンとマレナが、いる場所が違って互いのことを思いながら行動する姿に、心を揺さぶられる。  【選定理由】 離れて暮らすことになった2羽が、寂しさに心を痛めながらも、徐々にお互いのことを思い行動する姿が、絵と共に繊細に描かれ、心打たれる。再会する場面の絵も印象的で、離れていても切れることのない絆の美しさを表現できている。あとがきも、後日談や作者たちのやりとりが載っていて興味深い。	(1)イ (3)ア
1733	あこがれのユーチューバー  国土社  牧野節子/作 はせがわはつち/絵	【内容】 俊はピカリンのようなユーチューバーになりたいと、あこがれている。友だちの英太は紙きり芸をしている俊のおじいちゃんに弟子入りをする。俊も一緒に紙きり芸の練習に付き合うことになる。「ユーチューバー」という子供が興味をひく題材に「紙きり」という伝統芸を融合させながら、話が広がっていく。それぞれに批判的な意見も入れつつ、話の中でそれぞれのよさを自然に出している。  【選定理由】 ラッパーのユーチューバーになりたい俊と紙きり芸に憧れている英太。発表に向けた練習を通してお互いやラップと紙きり芸について見つめながら友情を深めていく。「ユーチューバーになりたい」という夢に難色を示す大人も多いかもかもしれないが、俊が目標とする「人に元気を付けられるようなユーチューバー」と、英太が憧れる「人を楽ませる伝統芸の紙きり芸」は本質的には変わらないのではないかと気付いていくなど、自分の「将来」について考えるきっかけとなる。	(2)イ (3)イ
1734	海にしずんだクジラ  BL出版  メリッサ・スチュワート/文 ロブ・ダンラヴィ/絵 千葉茂樹/訳	【内容】 クジラの死骸を起点に食物連鎖、長い年月をかけて命がめぐっていることを伝える作品。多様な深海生物が登場し、興味をひかれるとともに、自然の壮大さを感じることができる。絵も綺麗で、眺めているだけでも面白い。  【選定理由】 海の中で起こる食物連鎖について、一頭のクジラが命を終え、海の底へと沈んだ先でどんなことが起こるのか丁寧に描かれていく内容に引き込まれる。クジラの「死」から始まり、少しずつその体が食べられていく様子はやさしく美しい絵で表現され、残酷さや不快感は一切感じさせない。命の循環について考えさせられるとともに、深海に沈んだクジラを支える普段は目にしない生物群も紹介される。巻末の解説まで興味深く読むことができる。	(1)イ (3)ア

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1735	ひと箱本屋とひみつの友だち  さ・え・ら書房  赤羽じゅんこ/作 はらぐちあつこ/絵	【内容】 小学5年生の朱莉は、ふとしたきっかけで、ひと箱本屋カフェ「SHIORI」を訪れ、そこで売られていた一冊の手作りの本に、心をうばわれる。作者は同世代の女の子・理々亜で、車いすユーザーだった。ほんとうの友だちとは？ほんとうに自分らしいとは？朱莉が本を通じて紡いだ、友情の物語。  【選定理由】 朱里が、車いすユーザーの理々亜との友情を深める中で、本当の友だちとは、本当の自分らしさとは何かを考えていき、必要なのは“車椅子だから”という気遣いではなく、“友達だから”という優しさからくる行動だと気づく。障害者の気持ちも健常者の気持ちもよく書かれている。車いすユーザーはやりたいことを諦めざるを得ないのか、世の中の在り方を考えさせる。	(1)ア (1)ウ (2)イ (3)エ
1736	今日もピアノ・ピアノ  Gakken  有本綾/作 今日マチ子/絵	【内容】 お母さんにゲーム機を没収されてしまった、小学6年生の海斗。うかない気持ちで塾に向かう途中、駅にあるピアノで美しい音をつむぐおじいさんに出会う。「このピアノは、だれが弾いてもいいみたいだよ。」翌日も、海斗はそのおじいさんとピアノが気に入り、駅に向かうことに。学校や塾、習い事に忙しい現代の小中学生におくる、小さな「変化」の物語である。  【選定理由】 ゲームに夢中で何をやっても中途半端だった小学6年生の海斗が、駅のストリートピアノを弾く老人の家族と出会ったことで、自分がやりたい事を見つけ成長していく。「ピアノピアノ」＝「あわてず、ゆっくり、少しずつ」と唱えつつ、途中悩みながらもコンサートで老人と共演するまでに上達する。海斗の心の成長とともに音楽の力の大きさが伝わる作品である。	(2)ア (3)ア
1737	すき、好き、スキ。  文研出版  イノウエミホコ/作 ふうき/絵	【内容】 小6のワトと胡太は、ミニバスケットボールクラブのOBで高校1年生の高刀翔也くんに憧れている。二人は推し友になり、翔也くんの情報を共有する。しかし、胡太は、自分の感情が単なる憧れでないことに気づく。同じ出来事について、ワトと胡太のそれぞれの気持ちが交互に描かれている。自分の「好き」と相手の「好き」が同じ種類とは限らない。  【選定理由】 胡太は先輩の翔也くんに対する気持ちが憧れではないことに気づいていく。胡太とワト、立場の違う二人が思う好きは違う。その気持ちの変化や葛藤が、事細かに描かれており共感や理解できる部分が多い。悩み多きこの年頃の子供たちに読んで欲しい。	(1)ア (2)イ (3)エ
1738	ホワイトバード  ほるぷ出版  R・J・パラシオ/原作 エリカ・S・パール/ノベライズ 中井はるの/訳	【内容】 少年ジュリアンが宿題のために祖母から聞いた体験談、それは第二次世界大戦中のホロコースト。ユダヤ人の祖母は、なぜ生き延びることができたのか。身を潜めて生きる日々の中にも人の温かさや小さな喜びを感じることができた。読み応えのある作品である。  【選定理由】 ユダヤ人にとっては悲しくつらいホロコーストの歴史を、高学年の児童にも読みやすい物語として描いている。巻末にナチスやホロコーストについての解説もあり、歴史を詳しく知らない児童も背景を知ることができる。「二度と過ちを繰り返さないために、起きたことを知り、語り継いでいく」ことの大切さを訴える作品である。	(1)ア (1)イ (2)イ (3)ウ
1739	ケモノたちがはしる道  静山社  黒川裕子/作	【内容】 東京で暮らすおしゃれとゲームが大好きな今どきの中学1年生の千里が、熊本の山村で暮らす祖父のもとで3泊4日を過ごす。熊本の雄大な山とあたたかい人々にふれ、わな猟を体験するうちに、千里は「命」の重みを知っていく。実際には容易にできない体験だからこそ、読書を通して疑似体験させたい。  【選定理由】 命とは何か。自分が普段食べている肉の延長線上には、生きたケモノがある。里山に下りてくる野生動物たちや「害獣駆除」の実態を目の当たりにする中で、学校と家と動画配信だけの自分の世界が一気に広がった。今の時代、魚も切り身だと思っような子供たちがいる中、沢山の食べ物があり余り、命を頂いているという、そのつながりを考えるきっかけとなる。	(1)イ (2)イ (3)イ

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1740	ハーベスト 講談社  花里真希/著	<p>【内容】 人と話すのが苦手なぼく、彫りの深い顔立ちで少し怖い虫好き西森くん、いつもユニコーンのぬいぐるみを抱えた帰国子女の先輩アズサ。彼らは3人しかいない園芸部だが、フランス語で菜園を意味する「ポタジェ」を作るために顧問の平林先生と奮闘する。それぞれの登場人物たちが抱える事情が彼らの内面の成長によって解決されていくエピソードも織り交ぜられている。</p> <p>【選定理由】 人前で話すことが極端に苦手なぼく、家庭環境からくる偏見や誤解に耐える西森、日米の文化の違いに居心地の悪さを抱えるアズサなど作中には様々な事情を抱えた登場人物が出てくるが、園芸を通して、自分や他者との向き合い方を学び、内面の成長によって困難を解決していく。人との付き合い方に悩む中学生に最適である。</p>	(1)ア (2)ア
1741	アンナの戦争 キンダートランスポートの少女の物語 偕成社  ヘレン・ピーターズ/作 尾崎愛子/訳	<p>【内容】 ユダヤ人迫害を逃れるためにキンダートランスポートでドイツからイギリスへ渡ったアンナの物語から、戦争、難民といった現代にもある社会問題について学ぶことができる。文章も読みやすく書かれている。作品の後半は、首相暗殺のスパイを見つける冒険が描かれフィクション色が強まるが、ドキドキしながら楽しく読むことができる。</p> <p>【選定理由】 第二次世界大戦時のユダヤ人虐殺、戦争により失われる人命について考えることができる点で、平和を維持しようという倫理観や正義感を育てられる作品。また、主人公が疎開先の家族と上手く暮らせるよう試行錯誤しながら成長する様子から、他者への思いやりや人間の生き方について学ぶことができる。文章も読みやすく書かれており、歴史的事実だけではなく冒険物語的な内容も盛り込まれており、飽きずに読み進めることができる作品である。</p>	(1)ア (2)イ (3)ウ
1742	さみしい夜にはペンを持って ポプラ社  古賀史健/著 ならの/絵	<p>【内容】 うみのなか中学校に通うタコジローは、思っていることをうまく言えず、緊張すると赤くなって墨を吐いてしまうタコに生まれたことを悔やみ、学校にも居場所がないと感じている。ある日バスを乗り過ごした先の公園で不思議なヤドカリおじさんと出会い、おじさんから考えることの大切さや気持ちを書き出すことの大切さを教わり、タコジローが変わっていく話。読後は中学生も日記が書きたくなるであろう一冊である。</p> <p>【選定理由】 作中のタコジローは自分の思いを日記に「書く」ことによって自己を見つめ、他者とも関われるようになる。「書く」作業のやり方が具体的にわかるだけでなく、「書く」ことの大切さを自然と実感できる一冊である。</p>	(1)エ (2)ア (3)エ
1743	きみの話を聞かせてくれよ フレーベル館  村上雅郁/作 カシワイ/絵	<p>【内容】 章ごとに語り手が変わる連作。学校で実際に起こりうる人間関係のトラブルをリアルな文体で描く。友人関係、ジェンダー、恋愛、いたずら、不登校をテーマに、狂言回しの黒野が人間関係のすれ違いを解消していく。前半は登場人物のユニークさが出ていて楽しく読めるが、後半は何気ない一言が相手を深く傷つけているという重いテーマで、雰囲気が変わるが、最後は大団円のハッピーエンドなのも好感が持てる。</p> <p>【選定理由】 中学生たちの人間関係で起こりうるトラブルや悩みを、リアルかつ明快に描いている作品。登場人物が多く、さまざまな視点で物語が進むので、飽きずに読み進めることができ、多くの読者に共感できる部分が見つかりやすいと予想される。友人関係、ジェンダー、不登校など自分と他者の価値観の違いを認め合うことの難しさや大切さを学ぶことができる。また、登場人物たちの葛藤や成長を通して、自身の生き方を考えることもできる作品である。</p>	(1)ア (2)イ
1744	アップサイクル！ぼくらの明日のために ポプラ社  佐藤まどか/作 木内達朗/装画・挿絵	<p>【内容】 夏休みの課題研究として、「アップサイクル」をテーマにした文、紫月、王の3人。紫月の姉の助力もあり、順調に進んでいるかに見えたが、それまでのデータを保存していたタブレットが盗まれてしまい、疑いの目は疎遠になった幼馴染の清水に向けられる。 サイトの立ち上げ、商標登録、ビジネス起業などの、実際の課題を知ることできる。書きぶりは、読書が苦手な子ども無理なく読める。</p> <p>【選定理由】 廃材をどのように活用するのか等の従来の取組ではなく、視点を変え、廃材同士を組み合わせて何ができるのかという発想で子供たちが主体的に活動する姿を描いている。近年の時代の流れを捉え、インターネットサイトの立ち上げ、商標登録、ビジネス起業などを分かりやすく書き、かつ人物たちのひたむきな姿勢が心を打ち読後感もよい。</p>	(1)ウ (2)ア (3)ア

# 令和6年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準
1745	友だちがしんどい がなくなる本  講談社  石田光規/著	<p>【内容】 社会学者が学術的な知見もふまえながら、人間関係の悩みについて解説をしている作品である。SNS時代の人間関係のあり方が、SNS時代以前とはどう違うのかを客観的に分析し分かりやすく解説した上で、どう対応すればよいのかについて筆者なりの考えを提示している。</p> <p>【選定理由】 「友だち」とは何か？ どんな存在なら「友だち」といえるのか？ こうした問いは時代を超えて普遍的なものだが、本書は今日のSNSが変えた人間関係のあり方についても平易な言葉で考察している。人間関係に悩む多くの高校生や青年が、その悩み自体の元となっている社会や歴史に目を向け、悩みを相対化し解決に向かうヒントとなる作品である。</p>	(1)ア (2)ア (2)イ
1746	八秒で跳べ  文藝春秋  坪田侑也/著	<p>【内容】 あまりやる気のない見えない男子バレー部員が主人公。大会前に怪我をしたことをきっかけに、人間関係やレギュラー争いなど、高校生らしい悩みに直面する。仲間の部員たちもそれぞれの悩みや迷いを抱えており、ぶつかりあいながら互いの理解を深めていく。自分はどうしたいのか迷い、決断する姿は、いろいろな状況に悩む高校生が共感できる内容である。</p> <p>【選定理由】 部活動への向き合い方やレギュラー争い、人間関係に悩む高校生の姿に共感できる。他者との交流を通して成長する主人公たちから学べることも多い。スポーツや文化芸術の楽しさも描かれており、読者がそれらに親しむきっかけになる。</p>	(2)ア (3)ア
1747	弟は僕のヒーロー  小学館  ジャコモ・マツァリ オール/著 関口英 子/訳	<p>【内容】 ダウン症で生まれた弟と家族として向き合う兄の気持ちがありのまま描かれたエッセイ。家族ならではの葛藤があったのだろうが、自由な弟を受け入れる家族や周囲の人々の目が温かく、障害者福祉にもつながる内容である。</p> <p>【選定理由】 障害を持って生まれた弟に対する戸惑い、ありのままの弟を受け入れるまでに至った心境の描写が素晴らしく、心に響く。多様性や人間としての生き方 在り方を考えさせる作品である。</p>	(1)ア (1)イ (2)イ (3)エ
1748	続 窓ぎわのトット ちゃん  講談社  黒柳徹子/著	<p>【内容】 戦時中の体験や学生・就職時代の出来事などを著者が語るエッセイ。当時の様子や社会状況などがうかがえて興味深い。前作を読まなくとも、登場人物など特に困ることはなく、後半はエッセイとして楽しく読むことができる。特に前半部分の戦争描写が、平和な時代を生きる我々にとって読むべき内容である。</p> <p>【選定理由】 「トットちゃん」の愛称で知られる黒柳徹子さんのエッセイであり、学生時代や女優として活躍した彼女の半生は興味深い。特に幼少期の戦争体験については、戦後79年となり、戦争を知らない世代がほとんどとなった現在、貴重な資料である。</p>	(1)イ (2)イ
1749	私たちの世代は  文藝春秋  瀬尾まいこ/著	<p>【内容】 コロナ禍という特殊な子供時代を過ごした2人が就職活動の場では出会い、次第に打ち解けていく中で、ひきこもり、母子家庭などそれぞれの迎ってきた人生がリアルに描写されている。自分の心に誠実に過ごしてきた2人の明るい未来を示唆し、最後は希望の持てる終わり方になっており、読後感もよい。</p> <p>【選定理由】 世界を席卷した未曾有の感染症を扱うことにより、重いテーマになったが、悩み苦しみなながらも希望の持てる終わり方になっていて、読後感が良い。家族の対比があることで、その在り方についても考えさせられる。</p>	(1)ア (1)イ (2)イ